

水産技術センター試験・研究課題事前評価表

水産技術センター評価委員会

試験・研究課題名：ヤマトイワナ種苗生産試験

大課題名：養殖漁業の振興

小課題名：新養殖魚種開発研究

細目課題名：種苗生産技術開発

担当者名：研究員 土田奈々

評価項目	評価点	指摘事項
1 課題設定の必要性 (背景、社会的ニーズ)	4 / 5	産業場はニッコウイワナで成り立っているが、生物多様性の点、在来種保護の点から必要性は高い。
2 課題の新規性、独創性	5 / 5	対象魚は県内在来種であるが、独創性はある。静岡と長野で試みられてはいるが、在来種再生手法として期待する。
3 目的・内容の整合性、 妥当性	4 / 5	目的と方法は整合し、在来種の採取も可能である。水温の低い試験施設がないので、完全な試験が難しそうである。
4 研究手法の的確性、 技術的可能性	4 / 5	施設の制約下であるが、可能性があると思われる。
5 成果の期待度	5 / 5	特産品、生物多様性保護、味の良さなどから期待できる。また、地域資源保全効果として期待できる。
総合評価	4.3 / 5	研究を進めてほしい。

「注」評価点の目安

評価	高い	やや高い	普通	やや低い	低い
点数	5	4	3	2	1

試験研究機関の処置

- 1 本来は支流毎の種苗を生産するところであるが、現状では極めて困難なので、次善の策として富士川水系の放流種苗を確保する。
- 2 在来個体群の保護と併せて、新たな漁場管理の一助とする。